

旧水海道小学校本館

The Main Building of Ex-Mitsukaido Primary School



旧水海道小学校本館は、明治 14（1881）年に建築されました。

大正 10（1921）年、同校の校舎移転に伴い本館も移築され、玄関部などが一部改造されました。

昭和 33（1958）年、建築当時の面影を伝え、明治初期の小学校建築の形態を保存しているので、茨城県文化財に指定されました。

昭和 46（1971）年、本館は当時の水海道市立水海道小学校から当館に寄贈されました。

そして、昭和 49（1974）年には、当館が開館し、本館も一般公開しました。

昭和 51（1976）年からは、本館の内部に展示室を設け、教育資料や水海道小学校関係資料などを展示しています。

建物の見どころ



茨城県指定文化財

指定名称「水海道小学校玄関」

木造桧瓦葺 2 階建

昭和 33（1958）年 3 月 12 日指定



3 階 鼓楼

- ・軒出の深い八角形の屋根
- ・優雅なカーブを描く屋根面
- ・頂上の精緻なデザインの避雷針
- ・創設当時はここの天井に太鼓を吊し授業の合図などの時刻を報じたということから“鼓楼”の名がある。



2 階 バルコニー

- ・唐派風状の破風
- ・渋い赤色の手摺で囲まれた陸屋根
- ・雲形の飾り下がり壁
- ・網代天井



1 階 玄関

- ・建物の中央に突出している玄関部（ポーチ）
- ・4本の円柱（オーダー）は、頭部が鏡餅を逆さにしたような形になっている。
- ・網代天井



1 階室内 彫刻

1 階の梁に見られる雲形の彫刻は、宮大工の技と和洋混交の本館建築を示しています。



1・2 階室内 ステンドグラス

明治 14（1881）年当時、日本では色ガラスを輸入していました。本館に使用されている窓ガラスやステンドグラスのできばえからは、文明開化の息吹を感じることができます。

擬洋風校舎を作った街 水海道（現：常総市）

江戸時代、水海道の街は、下総国豊田郡水海道村といい、鬼怒川の水運を生かした河岸の街・交通の要地として栄えていました。そして、物資の集散地・商業都市としても栄えました。

また、舟運を利用して、江戸の文化が伝えられたり、文化人（漢詩人、儒学者、画家など）が来訪・移住したりしていました。

幕末の頃には、寺子屋での教育にも力を入れていました。

明治維新をむかえ、この街にも新しい西洋文化が伝わってきました。明治 10（1877）年には、下妻警察書水海道分署が西洋風に建築されました。

明治 14（1881）年、この建物に刺激された街の人々は、5,000 円余りの寄付金を集め、洋風を模した水海道小学校の校舎を建築しました。

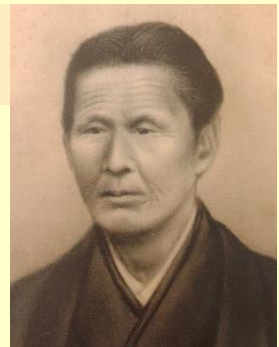


現在の常総市の位置

擬洋風校舎を作った人 羽田 甚蔵（はだ じんぞう）

この校舎を設計・建築したのは、水海道の宮大工で棟梁の羽田甚蔵です。水海道の一言主神社・天満宮などの造営にもあたったといわれます。

また、西洋風の校舎を建築するにあたって横浜まで見学にいったといわれています。



竣工式の様子

明治 14（1881）年 7 月 25 日、水海道町横町に小学校の校舎が完成し、竣工式が行われました。

右の写真は、その時の様子を写したものです（当館蔵）。

この校舎は、大正 10（1921）年に栄町に移転するまで使用されました。



水海道小学校資料展示室（常設展）

明治8（1875）年開校の水海道小学校（現：常総市立水海道小学校）の歩みとそのルーツをたどる資料等を展示します。

水海道小学校・旧水海道小学校本館の歩み

和暦	西暦	できごと
天保4年	1833	このころ、矢田部（現：つくば市）出身の塚田万兵衛が遊雲堂を開く
明治5年	1872	幕末期、水海道には大高、塚田、松田、宮本などの寺子屋師匠がいた
6年	1873	学生領布
		文海学校（現：遊雲堂）・絹水学校（明治5年）ともいうが開校する
8年	1875	文海・絹水の2校が合併し、水海道小学校として開校する
14年	1881	水海道小学校の本館ができる
20年	1887	水海道尋常小学校と改称する
大正4年	1915	水海道尋常高等小学校と改称する
8年	1919	新校地に校舎が完成し、児童が移る
10年	1921	校舎新築にともない本館を移転する
昭和7年	1932	講堂が完成し、グランドピアノを購入する
16年	1941	水海道国民学校と改称する
22年	1947	水海道町立水海道小学校となる
28年	1953	新校歌を制定し、発表会を行う
29年	1954	市制施行により市立水海道小学校と改称する
33年	1958	本館（玄関）が県指定文化財になる
46年	1971	水海道小学校の校舎新築・移転にともない、本館を歴史館に移築する
48年	1973	旧水海道小学校本館を創建当時の姿に復元する
49年	1974	歴史館が開館し、旧本館も一般公開する
50年	1975	水海道小学校からグランドピアノが寄贈される
51年	1976	旧本館に展示室を設け、教育資料及び水海道小学校関係資料の展示を始める
平成2年	1990	グランドピアノの修復をする
4年	1992	グランドピアノの修復記念コンサートを開催する
5年	1993	水海道市で、グランドピアノの里帰りコンサートを開催する
18年	2006	石下町との合併により、常総市立水海道小学校となる

明治13（1880）年秋に書かれた川田剛（号甕江・1830～96）の書を扁額にしたもの。川田は、備中に生まれ、江戸で学び、明治漢文学会の宗主といわれました。幕末から秋場桂園（元：水海道村戸長）と親交があり、水海道小学校新築に際して桂園の依頼で書いたものと思われます。この扁額は、昭和46（1976）年に解体され、当館に移築されるまでは、本館玄関に掲げられていました。現在玄関上に掲げられている額はこの複製です。



額「水海道学校」（川田剛筆）

明治14（1881）年7月25日、茨城県県令人見寧、豊田郡長赤松新右衛門などを招き、華々しく開校式が行われました。秋場桂園は、祝辞で、水海道の「水」をとり、昼夜やまざる水の努力をたたえ、「藍より出でて、藍より青き」英才の続出することを要望しました。桂園筆の「青於藍」の額も開校式の記念品として展示されています。



額「青於藍」（秋場桂園筆）

本館内展示室



昔の給食を再現した展示室

本館内には、複数の展示室があります。展示室の一つでは、常設展として、昔の教室を再現した展示を行っています。教卓、学習机、椅子、オルガンの他、昭和20年代から平成時代までの学校給食の移り変わりが、給食レプリカによって展示されています。また、明治時代～昭和時代にかけて使用されていた教科書等も展示しており、学校教育の移り変わりについて実物資料をとおして学ぶことができます。

また、別の展示室では、茨城県の発展に尽くした先人たちの業績をパネルで紹介する「茨城の先人たち展」や、現在の常総市立水海道小学校にある「歴史の部屋」について紹介する展示も行っています。

その他、「御影奉安所」や「仕丁控室」など、当館所蔵資料を活用したスポット展示も行っています。



昭和20年代の給食
(脱脂粉乳とみそ汁)



昭和20年代の給食
(脱脂粉乳とみそ汁)

栄町時代の校舎

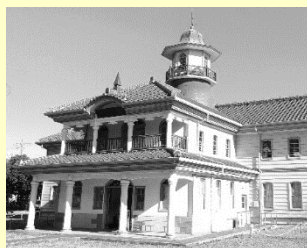


栄町時代（大正10年～）の校舎

明治8（1875）年、絹水、文海の両学校が合併して水海道小学校となり、明治14（1881）年に新校舎が水海道町横町に建てられました。

その後、児童数の増加に伴い、大正10（1921）年に水海道町横町に移転しました。左の写真は、横町時代の校舎の様子です。

明治14（1881）年当時の校舎と異なり、中央に突出している玄関部がスリムになっています。



明治14年当時の姿に再現された現在の校舎

栄町時代の校舎を知る方々にとって、現在の姿は少し違和感を覚えるものであるようです。栄町時代の校舎は、現在も多くの写真や絵画として残されており、その魅力的な姿が、いかに多くの人々に親しまれていたかが分かります。

ピアノ展示室



旧水海道小学校本館内のピアノ室で保存されているピアノ



ピアノの製造番号



歴史館ピアノコンサートの様子

ピアノの来歴

慶応元（1865）年、アメリカ・ニューヨーク市のスタインウェイ&サンズ社で製造されました。製造番号は 11013 番です。

製造当時には、ローズウッド木地仕上げでした。長さは 203CM、鍵盤は 85 鍵（白鍵・象牙製・50 鍵、黒鍵・黒檀製・35 鍵）です。このピアノには、ヘルツ式スプリング採用・ダブルエスケープメント・レペティションアクションという素早い連打を可能にするメカニックがあり、これは現代のピアノアクションの原型といえます。

昭和 7（1932）年 12 月、現在の常総市立水海道小学校が同校講堂の完成を記念して、東京の楽器店から、同校後援会の寄付金と町の予算を合わせ、1,200 円で購入しました。同校では音楽の授業や各種の儀式、音楽会などにこのピアノを活用してきました。また同年に片野次郎平先生が音楽教育の一環として「金の鈴合唱団」を作ったり、その後、同校が各種の音楽コンクール等において素晴らしい成績をあげたりしたことも、このピアノの存在によるということです。

昭和 50（1975）年、このピアノは同校から当館に寄贈され、翌年から旧水海道小学校本館の展示室において展示されてきました。

平成 2・3（1990・1991）年、ピアノの全面修復がなされました。平成 4（1992）年 10 月 18 日には、修復記念コンサートが当館講堂で開催され、当時をしのばせる音色が蘇りました。

現在は、校外学習等で訪れた学校団体への解説や、いにしえのピアノ演奏体験・歴史館ピアノコンサート等の各種イベントにおいて活用されています。